

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

シルクロードの織機

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-11-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉本, 忍, 柳, 悦州 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/5212

高機【UTF-2】

調査年月日 : 1999年7月13日
 調査地 : マルギラン (Margilan) 市
 民族名 : ウズベク (Uzbek)

型式 : 高機
 材質 : 木, 石 (錘り)
 概寸 : 全長421cm, 全幅142cm, 全高233cm
 経糸保持方式 : 垂下式
 整経方式 : 平整経式
 開口具設置方式 : 綜統可動式

構成部品

機台1 : <図UTF-2-a-1>
 機台2 : <図UTF-2-a-2>
 経糸保持具 : 経糸保持棒<図UTF-2-a-3>
 布巻き棒<図UTF-2-a-4>
 経糸間接保持具 : 布巻き制御棒<図UTF-2-a-5>
 滑車<図UTF-2-a-6>
 錘り1<図UTF-2-a-7>
 錘り2<図UTF-2-a-8>
 開口具 : 番目綜統 (2枚1組)
 <図UTF-2-a-9>
 開口補助具 : 滑車 (2個) <図UTF-2-a-10>
 踏み木 (6本) <図UTF-2-a-11>
 緯入具 : 杼
 緯入補助具 : 飛杼装置<図UTF-2-a-12>
 緯打具 : 箆<図UTF-2-a-13>
 経糸整列具 : 綾棒 (2本) <図UTF-2-a-14>
 その他 : 座板<図UTF-2-a-15>
 経糸玉<図UTF-2-a-16>

製織中の織物

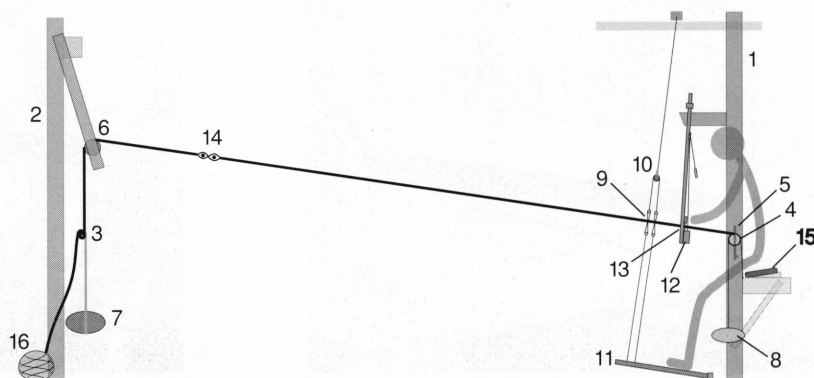
織技法 : 経緋織
 地組織 : 平織組織
 素材 : 絹
 用途 : 服地
 経糸全長 : 2000cm以上
 織幅 : 41cm
 織り手 : 男性 1人



調査メモ

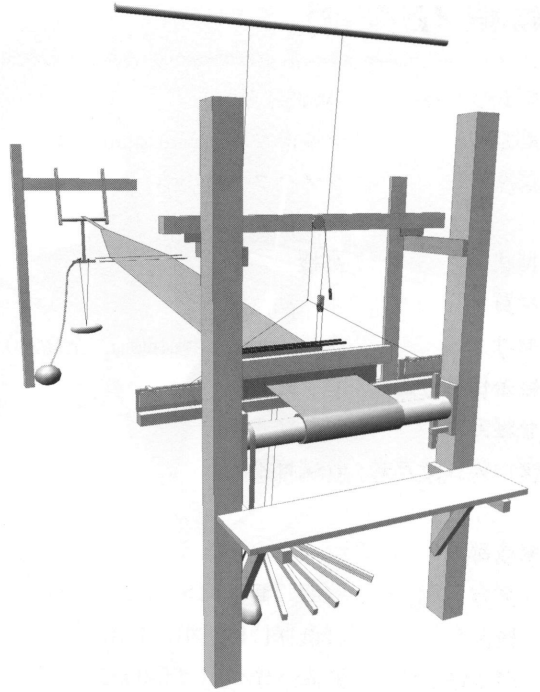
この高機は、マルギラン市内にあるトゥルグンバイ (Turgunbai) 工房で使用されていた。工房では緋のくくりから機織りにいたるまでの一貫生産がおこなわれており、高機は機織り専用の部屋の土間に設置されていた。この高機の機台は、布巻き棒などが取り付けられた鳥居型の機台と、経糸を保持するための機台に分離している。ただし、後者の機台には、柱が1本あるだけで、この柱の上に渡された横木は、窓枠に打ち付けられていた。経糸の保持式は垂下式で、経糸保持棒には錘りが吊るされており、経糸保持棒にくくられている経糸は、土間に置かれた経糸を束ねて巻いた糸玉から繰り出されている。また、布巻き具の左端にも錘りが吊るされており、この錘りは、布巻き棒の回転止めとして機能するとともに、経糸保持棒に吊るされた石の錘りと一体となって、経糸の張力を調整している。開口具としては、2枚1組の番目綜統が使われており、踏み木も2本使われていた。ただし、この高機では平織組織以外に、綾織組織の経緋も織る場合があることから、6本の踏み木が扇の骨状に設置されていた。なお、緯入具としては、杼がもちいられているが、この高機には飛杼装置が備わっており、織り手は右手で飛杼装置の紐を引いて杼を左右に往復させながら、左手で箆打ちをしていた。

UTF-2-a 構造図

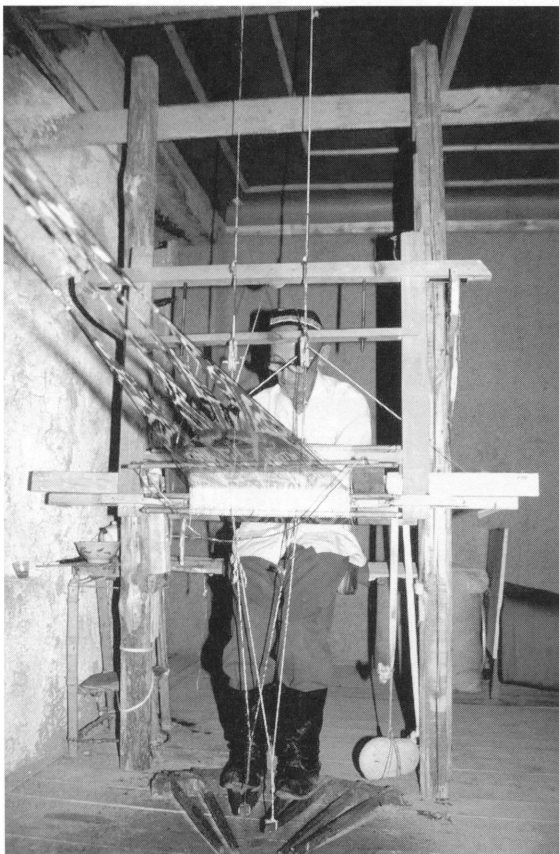




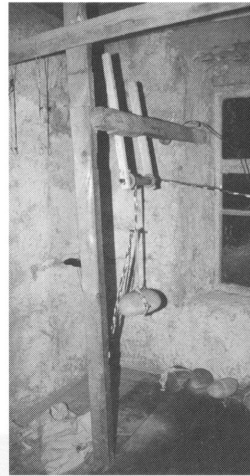
UTF-2-1 機織り 1



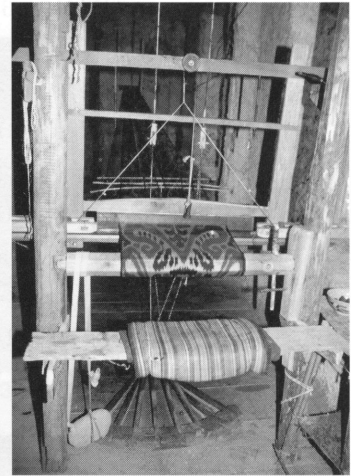
UTF-2-b 模式図



UTF-2-2 機織り 2



UTF-2-3 機台前部



UTF-2-4 機台後部



UTF-2-5 製織途中の織物

高機【UTF-3】

調査年月日 : 1999年7月14日
 調査地 : マルギラン (Margilan) 市
 民族名 : ウズベク (Uzbek)



型式 : 高機
 材質 : 木, 鉄 (錘り)
 概寸 : 全長500cm, 全幅160cm, 全高240cm
 経糸保持方式 : 垂下式
 整経方式 : 平整経式
 開口具設置方式 : 綜統可動式

製織中の織物

織技法 : 経緋織
 地組織 : 縹子織組織
 素材 : 絹
 用途 : 服地
 経糸全長 : 2000cm以上
 織幅 : 50cm

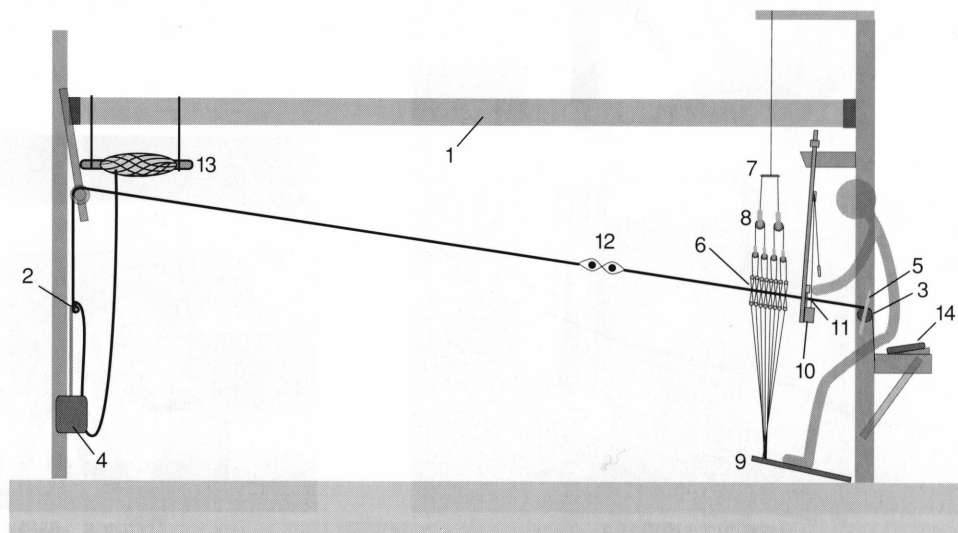
構成部品

機台 : <図UTF-3-a-1>
 経糸保持具 : 経糸保持棒<図UTF-3-a-2>
 布巻き棒<図UTF-3-a-3>
 経糸間接保持具 : 錘り<図UTF-3-a-4>
 布巻き制御棒<図UTF-3-a-5>
 開口具 : 番目綜統 (8枚1組)
 <図UTF-3-a-6>
 開口補助具 : 天秤棒 (2本) <図UTF-3-a-7>
 滑車 (12個) <図UTF-3-a-8>
 踏み木 (8本) <図UTF-3-a-9>
 緯入具 : 杼<写真UTF-3-3>
 緯入補助具 : 飛杼装置<図UTF-3-a-10>
 緯打具 : 箆<図UTF-3-a-11>
 経糸整列具 : 綾棒 (2本) <図UTF-3-a-12>
 その他 : 経巻き棒<図UTF-3-a-13>
 座板<図UTF-3-a-14>

織り手 : 女性 1人

調査メモ

この高機は、マルギラン市内の緋織物工場 (Factory Yodgorlik) で使用されていた。この工場は、絹糸の製糸から経緋の仕上げ加工にいたるまでの服地の一貫生産をしている大工場で、工場内には550台もの高機が稼動しており、経緋の生産量は月産3000m程度ということであった。この高機は、機織りがおこなわれている棟のなかの広い土間に、ところせましと置かれた110台のうちの1つである。個々の高機の機台は、いずれも工場内上部に張りめぐらされた井桁状の枠板に、前部と後部に分離した機枠を固定して組み立てられている。経糸の保持方式は垂下式で、経糸保持棒に吊るした鉄製の錘りによって、経糸の張力が調整されている。経糸保持棒にくくら



UTF-3-a 構造図

れている経糸の先は、機枠上部に吊るされた経巻き棒に巻かれており、経巻き棒自体は、経糸の張力を調整する機能を備えていない。開口具としては番目綜統が8枚使われており、縞子織組織の経緋が織られている。踏み木も8本で扇を開いた状態に設置されている。なお、緯入具としては、杼がもちいられているが、この高機には飛杼装置が備わっており、織り手は、右手で飛杼装置の紐を引いて、杼を左右に往復させながら、左手で箒打ちをしていた。



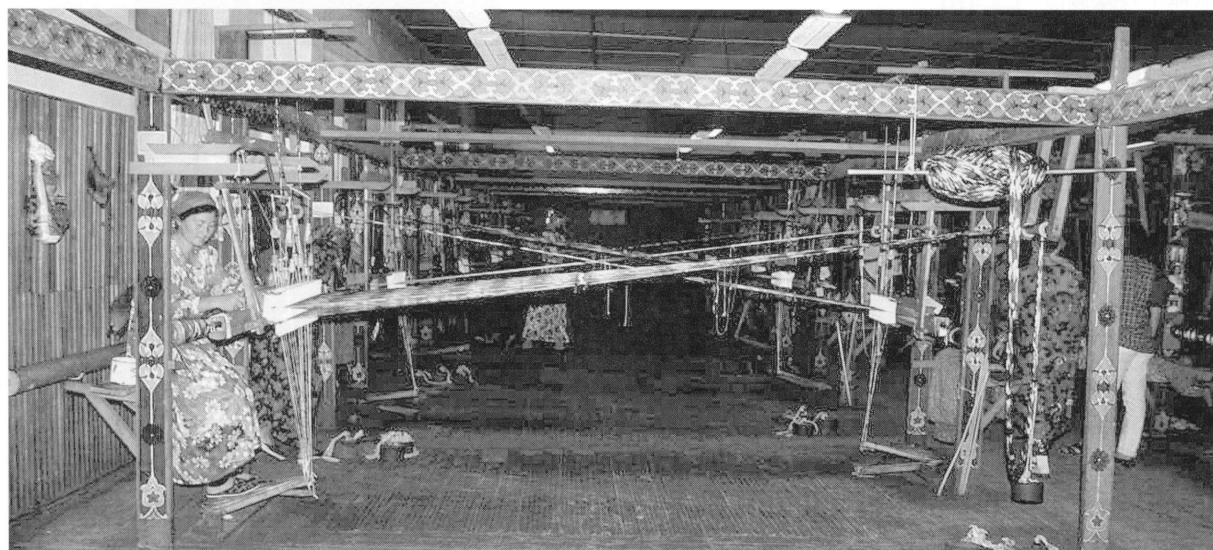
UTF-3-1 機織り



UTF-3-2 飛杼装置



UTF-3-3 飛び杼装置用の杼



UTF-3-4 機台は工場内上部の様子が彩色された枠板と一体になっている

高機【UTF-4】

調査年月日 : 1999年7月15日
 調査地 : フェルガナ (Fergana) 市
 民族名 : ウズベク (Uzbek)

型式 : 高機
 材質 : 木, 石 (錘り)
 概寸 : 全長200cm, 全幅120cm, 全高180cm
 経糸保持方式 : 垂下式
 整経方式 : 平整経式
 開口具設置方式 : 綜統可動式



調査メモ

この高機は、フェルガナ州郷土研究博物館 (Fergana Oblast' O'lkashunoslik Muzeyi) に展示されていた。機台は長方形の箱型に組まれている。経糸の保持方式は垂下式で、経糸保持棒に吊るされた石の錘りによって、経糸の張力が調整されている。経糸保持棒にくっられている経糸の先は、機枠の上部に吊るされた経巻き棒に巻かれている。ただし、経巻き棒自体は、経糸の張力を調整する機能を備えていない。開口具としては、2枚1組の滑車仕掛けの番目綜統が備わっており、踏み木も2本ある。また、この高機には飛杼装置が備わっている。この高機には、黒色に染められた経糸がかけられているだけで、機織りはおこなわれていない状態であったが、おそらくは、【UTF-2】、【UTF-3】、【UTF-5】と同様に、平織組織の無地や経緋の織物を量産するために使用された高機であったと見られる。

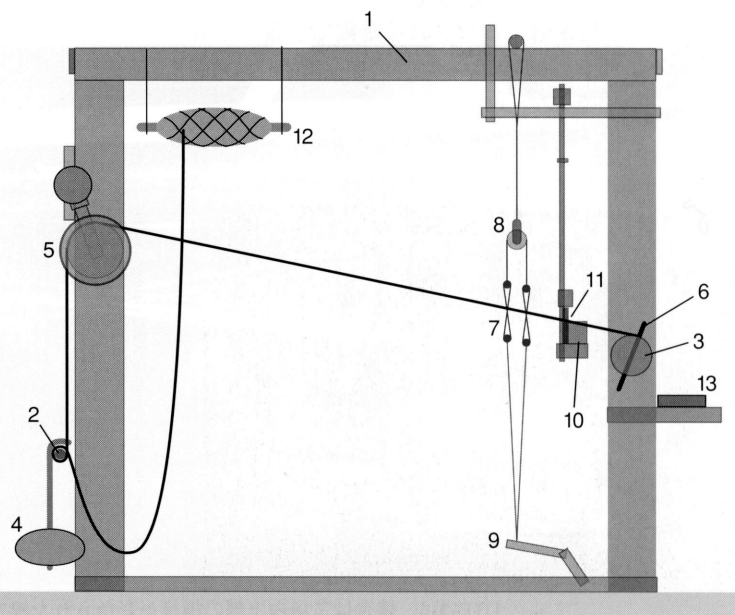
構成部品

機台 : <図UTF-4-a-1>
 経糸保持具 : 経糸保持棒<図UTF-4-a-2>
 布巻き棒<図UTF-4-a-3>
 経糸間接保持具 : 錘り<図UTF-4-a-4>
 滑車<図UTF-4-a-5>
 布巻き制御棒<図UTF-4-a-6>
 開口具 : 番目綜統 (2枚1組)
 <図UTF-4-a-7>
 開口補助具 : 滑車 (2個) <図UTF-4-a-8>
 踏み木 (2本) <図UTF-4-a-9>
 緯入具 : 杼
 緯入補助具 : 飛杼装置<図UTF-4-a-10>
 緯打具 : 箴<図UTF-4-a-11>
 その他 : 経巻き棒<図UTF-4-a-12>
 座板<図UTF-4-a-13>

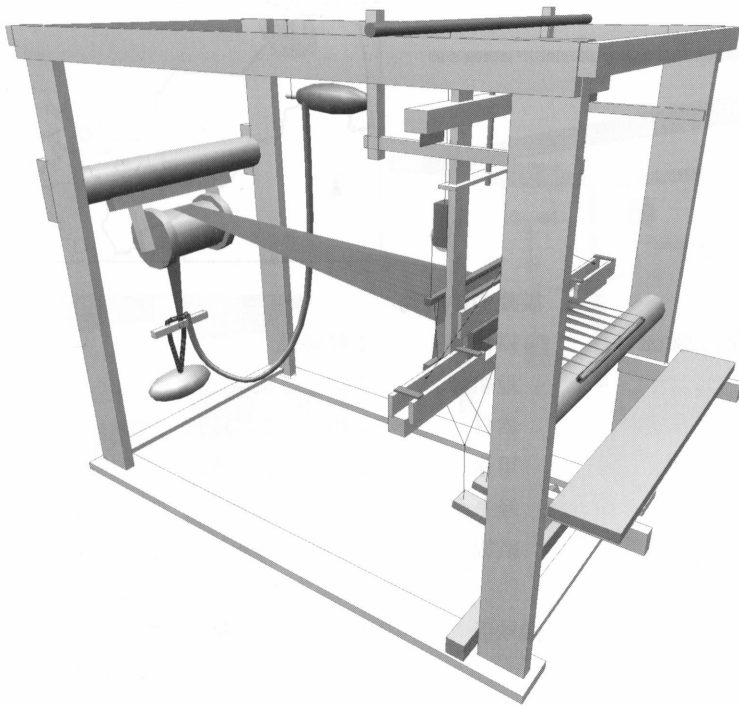
製織中の織物

織技法 : 無地平織
 地組織 : 平織組織
 素材 : 絹
 用途 : データなし
 経糸全長 : 2000cm以上
 織幅 : 50cm

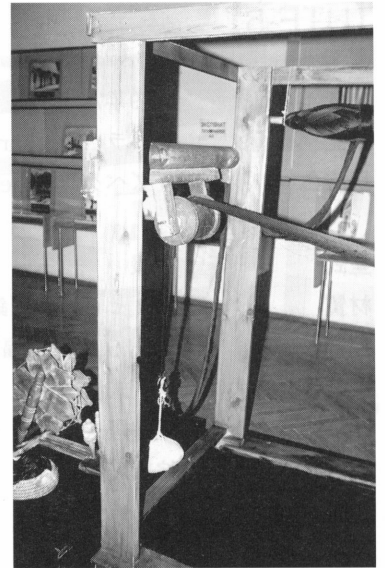
織り手 : データなし



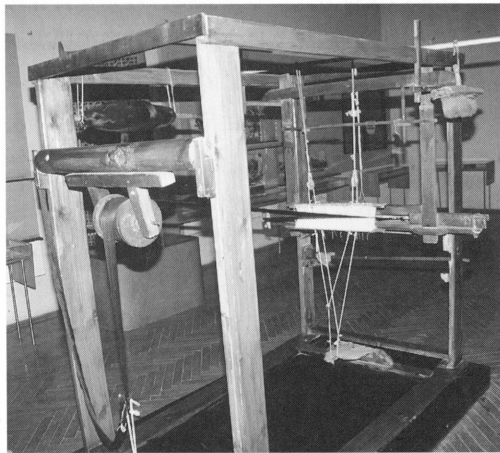
UTF-4-a 構造図



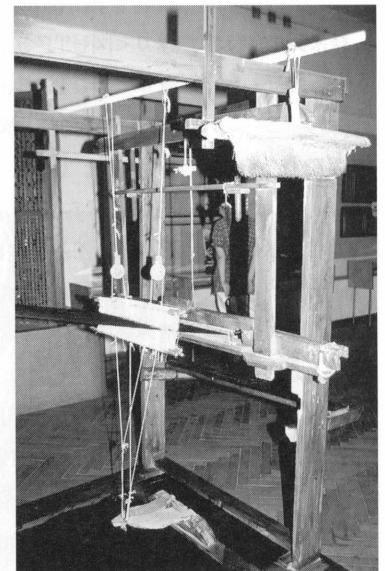
UTF-4-b 模式図



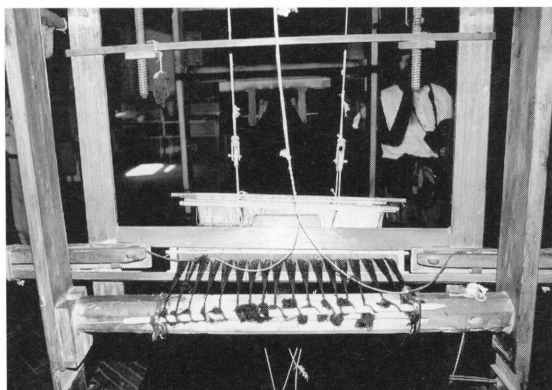
UTF-4-3 経糸の先端部分



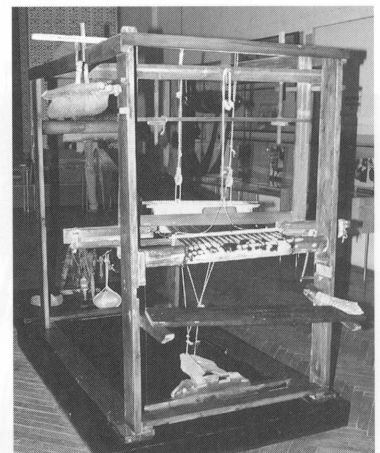
UTF-4-1 全景 (1)



UTF-4-4 開口装置



UTF-4-2 経糸固定部分



UTF-4-5 全景 (2)